

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 3

2021年6月4日発行



6月の聖句『絶えず祈りなさい』(新約聖書テサロニケの信徒への手紙 5章17節)

「祈り」は宗教的行為です。

それ以上に、無宗教者にとっても祈りはあるでしょう。その意味で祈りは普遍的な人間の行為です。我が子の成長、安全を願う祈りは尊く美しい。

キリスト教の伝統では沈黙の祈りが重んじられてきました。十字を切り、手をあわせ沈黙し祈り、最後にまた十字を切る。もうそれだけで立派な祈りです。

ある敬愛するキリスト者が祈れない私にこう言いました。「朝、起きて、まず信頼を込めて十字を切りなさい。そして、今日一日を主のみ手のうちにお守りくださいと祈りなさい」。

シンプルなことですが、このことによって、どのようなときでも、私は支えられてきました。

チャプレン 池田亨



緊急事態宣言の延長・・・それでも子どもたちは夏に向かって。

園長 菊地 和子

コロナの感染拡大がなかなかおさまらず、緊急事態宣言が6月20日まで延長されました。園では通常通りの保育を目指してはいますが、やはりいろいろな変更があります。外部講師の先生のプログラムや円山登山を延期したり、岩農での田植えが中止になったり、職員会議で数か月後の大きな行事の内容を何パターンか考えてみたりと、やはり計画を変更せざるを得ないことが数多くあります。

幼い子どもにとって、ひとつひとつの体験は、大人が体験するのとは比べ物にならないくらいとても大きな意味があり、たくさんのお話を吸収して学びます。そしてやり遂げた時に得た自信は、自分らしく生きるエネルギーになっていきます。

だから、なるべくその体験を減らしたくはないのです。何とか工夫をしながら、感染を防ぎ、子どもたちの豊かな日常を創っていきたいですね。

5月さいごの金曜日、縦割りチームの日。

今年度の縦割り活動がスタート!

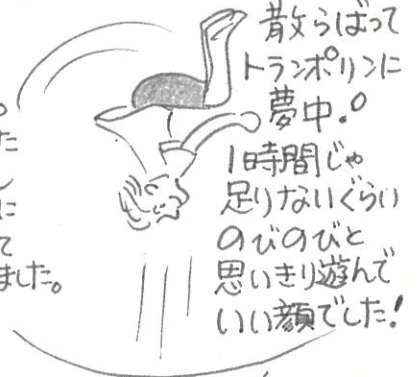
すみれさん、ひまわりさん、さくらさんは公園へお散歩の予定でしたが雨のため、おへやでたのしいゲームをいっしょしました。



最初は緊張でこわばっていた顔もどんどん笑顔になっていきました。

年長さんは、パパでやるイスリゲームやジャンケン列車をリードしたり、ロフトののぼり方を「こうやってやるんだよ」と教えあげたり、お買い物ごっこがはじまると「お金ある?」と小さい子にお金を配ってあげたり...とても優しく頑張ってくれまけ。年長さん年中さんも「大好きなお兄さんお姉さん」ができたようです。

ゆりさんはスタジオ・アクトさんへはじめての子たちもすぐに



散らばってトランポリンに夢中。1時間じゃ足りないくらいのだのびと思いきり遊んでいい顔でした!



インストラクターのお兄さんの華麗な技を見せてもらってみんなびっくり。大満足。次はちがうチームがスタジオ・アクトさんへおじゃまる予定です。

やっと温かくなり井戸水が活躍!



いいお天気になるとみんなわっ外に出てきます。どろんこしたい子はシャッパッパ、したくない子は服のまま、2歳児でもちゃんと自分で選んで期待いっぱいの顔ででてきます。

井戸水の出口はふたつあり、古いポンプ。山の上です。山の上から井戸水が頼おとほ流れきて泥んこ池に注ぎます。井戸水は雑菌ゼロです。泥んこ時代はあついうまにおわります。宝ものの時代ですよ。

生きもの博士たち

幼稚園の玄関の廊下にカブトムシの幼虫がいます。おいしそう!と思うくらい(?)丸々と太っていて、土から何匹も出ている朝は、みんな大興奮!!この幼虫と、2匹のウサギと友達の顔を虫眼鏡でのぞきこんで大喜びです。園庭では、虫博士たちがイモムシやアリや甲虫などをつかまえて「これは〇〇だよ」と友達に教えています。ツリーハウスの下には、カエルの卵が来ました。すぐにオタマジャクシになって、井戸水の中でどんどん大きくなっています。この後、ちょうちょやトンボが現れると、また博士たちが活躍するでしょうね!!